

# 地域の方々と一緒に 交通安全の普及活動に取り組んでいます

## 地域に根ざした活動 九州地区でスタート

子どもから高齢者まで、各年代に応じた活動を全国で展開するため、安全運転普及本部は、地域に活動拠点を設置し、新しい展開をスタートさせました。

これはHondaの製作所がある地域に安全運転普及本部の拠点を置き、地域の方々と一緒に交通安全の活動を展開するもので、「地域に根ざした活動」として、今年4月、九州地区から始めました。

市や町と協力して交通安全を広げる活動では、安全運転普及本部の「鈴鹿モビリティ研究会」\*1が1993年から三重県鈴鹿市で、幼児、児童、高齢者を対象に始めた交通安全教育「あやとりい」シリーズ\*2の普及活動など、成果を上げてきた実績があります。

## 熊本に「安全運転普及グループ」設置 協力会社とともに活動開始

九州地区では、まず熊本製作所内に「熊本安全運転普及グループ」を設置（専任メンバー4名）。さらに九州各地のHonda協力会社38社で作る「熊輪会」<sup>（ゆうりんかい）</sup>に呼びかけ、7月に協力会社内にインストラクター18名を養成しました。

安全運転普及グループは「熊輪会」とともに、市町村、警察、学校などと連携し、小学校での「あやとりい」安全教育、自治体共催の交通安全イベント「親子交通安全教室」、企業・団体の交通安全研修への協力など、活動を本格化させています。

## 交通安全では官と民、互いの強みを出して 力を合わせる事が大切

活動の第一弾は、夏休み前の7月12日に、熊輪会会員会社と共催した「第1回人吉地区親子交通安全教室」です。自転車の左折巻き込み実験を小学生の子どもと体験した保護者の1人は、「自転車に乗り始めたばかりで、道を走るのに慣れていない子どもにはぴったりの内容」と、参加体験型の教育の大切さを実感していました。

11月までに、熊本製作所の地元、大津町の小学校3校で、小学3、4年生を対象にした交通安全教育プログラム「あやとりい」も授業の一環として行いました。年度内にさらに3校実施する予定です。

授業を見学した地元警察署交通課長は「警察と企業が連携し、お互いの特徴を活かした取り組みが、九州の他の地域に拡大していくことは大変意義深いことだ」と語っています。

## 地域の指導者育成にも協力

年末までに、親子交通安全教室、企業・団体の交通安全研修、Hondaの協力会社や四輪、二輪販売会社が主催する地域イベントでの安全講習会など、スケジュールはぎゅぎゅ詰まっています。

また、バイク通学の高校生、高齢のドライバーや歩行者対象の安全講習会、さらに「あやとりい」「KYT（危険予測トレーニング）」などの指導者の育成も、地域の要望に応じて行っていく予定です。

\*1 三重県鈴鹿市とHondaの協力で1993年に設立され、交通安全教育と道路施設の改善を2本の柱として交通事故減少に取り組んでいます。

\*2 あんぜんを・やさしく・ときあかし・りかいして・いただくの略。幼児向け「あやとりい ひよこ編」、小学3、4年生向け「あやとりい」、小学生対象の「あやとりい 自転車教室」、高齢の歩行者・自転車利用者向け「あやとりい 長寿編」があります。

2008佐賀インターナショナルバルーンフェスタ



### インストラクターの養成



熊輪会のインストラクターは、四輪・二輪の安全運転指導方法を学びました。

### 親子交通安全教室



第1回人吉地区親子交通安全教室は、周辺の6市町村が共催し、251人の親子が、歩行者の飛び出し実験、車の死角の確認などを体験しました。

### 「あやとりい」を使った授業



製作所のある大津町内の小学校で行われた「あやとりい」の授業。子ども自身に考えさせ、体験させることで、印象づける教育方法が、教育関係者の皆様から評価されました。

### イベントへの協力



熊本市で20年続くカントリーソングの国際イベント「カントリーゴールド2008」の来場者に交通安全をお伝えしました。

### 企業・団体の交通安全研修協力



労働基準協会の依頼で、危険予測力を高めるためのトレーニングを実施しました。

### Honda交通安全シンポジウム in 沖縄



地域の交通安全活動に寄与するため「Honda交通安全シンポジウムin 沖縄」を開催。